

省燃費運転研修の理解度確認（ダンプ・トラック）

受講日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 所属 _____ 氏名 _____

番号の横に、正しいものには○、誤っているものには×をつけてください。

1. 燃料を燃焼させたときに発生するCO₂は温室効果ガスであり、その増加が地球温暖化の大きな原因となっている。
2. このままのペースで化石燃料を使用し続けると、2100年には世界の平均気温が最大1℃上昇すると予測されている。
3. 現場で発生するCO₂の7割は重機・車両の燃料として使用される軽油に起因する。
4. 冬季の暖機運転は少なくとも10分以上は必要である。
5. エンジン回転数2000～3000rpmの範囲はグリーンゾーンと呼ばれ、エンジン効率ももっと良い。
6. 省燃費運転の基本はエンジン回転数を上げないことであり早めのシフトアップ、遅めのシフトダウンが有効である。
7. エンジンブレーキ使用時も燃料は速度に応じて噴射されており、燃料の節減には寄与しない。
8. 車の空気抵抗は速度の2乗に比例する（速度が3倍で抵抗は9倍）。
9. 波状運転も低速運転も走行時間は変わらないので燃費に大きな違いはない。
10. 日建連主催の省燃費運転実技研修では平均値で約25%の省エネ効果が得られており、省燃費運転は温暖化防止にも経費削減にも役立つ。

以上です。

省燃費運転研修の理解度確認（ダンプ・トラック）

受講日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 所属 _____ 氏名 _____

番号の横に、正しいものには○、誤っているものには×をつけてください。

1. 燃料を燃焼させたときに発生するCO₂は温室効果ガスであり、その増加が地球温暖化の大きな原因となっている。
2. このままのペースで化石燃料を使用し続けると、2100年には世界の平均気温が最大1℃上昇すると予測されている。
⇒最大6.4℃
3. 現場で発生するCO₂の7割は重機・車両の燃料として使用される軽油に起因する。
4. 冬季の暖機運転は少なくとも10分以上は必要である。
⇒冬季の暖機運転は5分で十分！
5. エンジン回転数2000～3000rpmの範囲はグリーンゾーンと呼ばれ、エンジン効率ももっと良い。
⇒グリーンゾーンは通常1200～1500rpm
6. 省燃費運転の基本はエンジン回転数を上げないことであり早めのシフトアップ、遅めのシフトダウンが有効である。
7. エンジンブレーキ使用時も燃料は速度に応じて噴射されており、燃料の節減には寄与しない。
⇒エンジンブレーキ使用時は燃料噴射がゼロ！
8. 車の空気抵抗は速度の2乗に比例する（速度が3倍で抵抗は9倍）。
9. 波状運転も定速運転も走行時間は変わらないので燃費に大きな違いはない。
⇒波状運転は加速と減速を繰り返すので、定速運転より燃費が悪化する
10. 日建連主催の省燃費運転実技研修では平均値で約25%の省エネ効果が得られており、省燃費運転は温暖化防止にも経費削減にも役立つ。

以上です。